

宇都宮市との「交流連携会議」の設置について

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、本日、宇都宮市との包括連携協定に基づき、当行と宇都宮市双方の知的・人的資源を活用した課題解決の“検討の場”として、「交流連携会議」の設置に合意しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、今後も地方公共団体との連携強化をはかり、地域課題の解決を通じて、地域の持続的な成長と地域経済活性化への取り組みを進めてまいります。

記

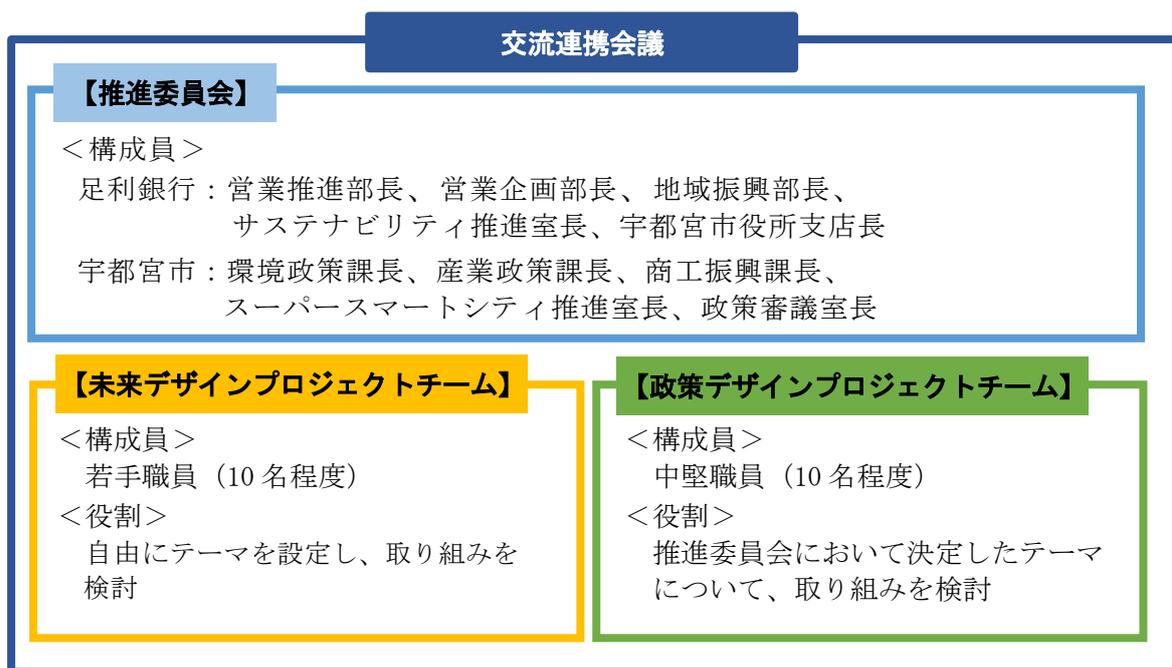
1. 目的

当行と宇都宮市は、2016年2月29日に締結した包括連携協定に基づき、商工振興や農業振興、観光振興などの事業施策において相互に連携・協力することで地域経済の活性化ならびに地域の雇用創出など持続的な“まち”の実現に取り組んでおります。

交流連携会議において、課題解決を目的として取り組みの企画段階から連携することで、より実効性のある取り組みが可能となります。また、若手・中堅職員で構成されるプロジェクトチームを設置することで、自由な発想・アイデアから新たな取り組み等を導出することを目指します。

本会議で生み出された取り組みは、同市以外の市町が抱える課題においても有効な解決策として活用されることが期待できます。

2. 運営体制



3. 対象となるテーマ

(1) 政策デザインプロジェクトチーム

5月に開催された推進委員会（準備会）において、対象テーマを、次のとおり決定いたしました。対象テーマは、適宜追加してまいります。

- ・地域における脱炭素化の推進
- ・地域産業のIT化、デジタルトランスフォーメーション（DX）の推進

(2) 未来デザインプロジェクトチーム

プロジェクトチームにおいて、自由に対象テーマを設定いたします。

4. 開催時期・頻度

7月以降、各プロジェクトチームを年7～8回程度開催する。

以 上

<ご参考>

「宇都宮市との包括連携協定における提携事項」

以下の事項について連携し相互に協力するもの

- (1) 商工振興に関する事項
- (2) 農業振興に関する事項
- (3) 観光振興に関する事項
- (4) 安全・安心に関する事項
- (5) その他持続的な“まち”を実現するために必要と認める事項